

政策 31 地域コミュニティづくりの推進

施策 01 地域コミュニティ組織の維持・強化

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	市民自らが地域づくりに参画し、地域の課題の抽出や解決のために行動するための地域内での話し合いや、主体的活動を円滑に行えます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	地域でコミュニティ組織が機能していると思う市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【生活課】	%	—	65.0	—	
評価	<p>(状況) 地域でコミュニティ組織が地域づくりや地域の支えあいの組織として機能していると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、自治会の加入率は低下しているものの、ふるさとづくり支援事業等の取組件数が増加しており、地域コミュニティ活動が活発化していると考えられるため、成果は向上していると推測されます。</p>						---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 自治会活動の支援促進

基本事項 02 相談支援体制の整備

基本事項01 自治会活動の支援促進

指標①	自治会への加入率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	75.2	74.5	74.3	→	(低下)
評価	<p>(状況) 自治会への加入率は74.3%となっています。前年度と比較すると0.2ポイント減少し、減少傾向が続いています。加入率は若干低下していますが、加入世帯数は微増です。 (原因) 加入率低下の主な要因は、アパート入居者等の加入率が低いこと、加入世帯増加の主な要因は、世帯分割であると考えられます。</p>					目標達成度	

基本事項02 相談支援体制の整備

指標①	地域コミュニティからの相談件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	件	21	24	25	→	(向上)
評価	<p>(状況) 地域コミュニティからの相談件数は25件で、前年度より1件増加しています。相談内容の内訳は、地域の課題解決に結びつく事業である、ふるさとづくり支援事業（花いっぱい推進事業を除く）11件、コミュニティ助成事業（宝くじ助成）8件、福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）6件です。 (原因) 嘱託員会議等でふるさとづくり支援事業の取組事例を発表したことや市広報紙・市ホームページへの掲載、事業要望の照会などにより、相談窓口の認知度が高まっているものと考えられます。</p>					目標達成度	

基本事項02 相談支援体制の整備

指標②	地域コミュニティ活動に参加している市民割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	-	41.1	-	→	---
評価	<p>(状況) 地域コミュニティ活動に参加している市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、ふるさとづくり支援事業や、コミュニティ助成事業の取組件数が増加しており、地域コミュニティ活動が活発化していると考えられるため、成果は向上していると推測されます。</p>					目標達成度	

政策 31 地域コミュニティづくりの推進

施策 02 地域コミュニティ活動の支援

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	集会施設の整備が充実し、あらゆる地域コミュニティ活動が支援・促進されます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	地域コミュニティの活動拠点に対する満足度	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【生活課】	%	-	83.7	-	
評 価	(状況) 地域コミュニティの活動拠点に対する満足度は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、集会施設整備補助事業を活用し、集会施設の修繕やトイレの改修などが順調に実施されているため、満足度は向上していると推測されます。						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 集会施設整備の推進

基本事項 02 高齢者生きがい支援の推進

基本事項01 集会施設整備の推進

指標①	(代替) 集会施設整備率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	92.2	92.2	92.2	→	
評価	(状況) 集会施設整備率は92.2%で、前年度と同数です。 (原因) 平成29年度は、集会所の新築がなかったためです。	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>					目標達成度
							<p>(横ばい)</p> <p>■■■ (高)</p>

基本事項02 高齢者生きがい支援の推進

指標①	生きがいを持って生活している高齢者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	%	-	81.8	-	→	
評価	(状況) 生きがいを持って生活している高齢者の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成している事務事業の成果指標値の多くが「低下・悪化」、「維持・横ばい」となっており、低下していると推測されます。	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>					目標達成度

基本事項02 高齢者生きがい支援の推進

指標②	地域活動に参加したことがある高齢者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	%	-	43.3	-	→	
評価	(状況) 地域活動に参加したことがある高齢者の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成している事務事業の成果指標値が「低下・悪化」、「維持・横ばい」が多くなっており、低下していると推測されます。単位老人クラブの団体数、会員数ともに減少しており、65歳を超えてもさらに働き続ける高齢者が増えていることなど高齢者の価値観や地域との関係性が変化してきていることが原因と考えられます。	<p>(%)</p> <p>50 40 30 20 10 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>					目標達成度

政策 32 生活安全体制の強化

施策 01 消防・防災体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	防火・防災意識の向上が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	市の消防・防災対策に安心感を持っている市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	%	-	91.4	-	→
評価	(状況) 市の消防・防災対策に安心感を持っている市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、自主防災組織の結成率や、消防団員の充足率が増加しており、市の消防・防災対策に安心感を持っている市民の割合は、向上していると推測されます。						---
							目標達成度

指標②	被災者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	人	20	25	9	→
評価	(状況) 被災者数は9人で、前年度と比較し16人減少しています。 (原因) 火災発生件数が8件減少したことによるものです。						(向上)
							目標達成度

指標③	火災による損害額	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	千円	21,719	23,241	37,169	→
評価	(状況) 火災による損害額は37,169千円で、前年度と比較し13,928千円増加しています。 (原因) 高級車3台が火災により消失したことによるものです。						(向上)
							目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

政策 32 生活安全体制の強化

施策 01 消防・防災体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	防火・防災意識の向上が図られています。

施策の成果状況と評価

指標 ④	防災対策平均実践項目数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【生活課】	項目	-	4.93	-	
評 価	(状況) 防災対策平均実践項目数は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、災害時の備えについて、市防災ガイドや防災DVDを活用し、町内会・行政区で実施している防災講話等を通じて説明しており、防災対策平均実践項目数は向上していると推測されます。	(項目) 					目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	防災情報通信設備の整備
基本事項 02	消防屯所及び消防自動車等の整備・充実
基本事項 03	自主防災組織等の育成・強化
基本事項 04	危機管理マネジメントの推進
基本事項 05	要援護者地域包括ケアシステムの充実
基本事項 06	要援護者避難支援プランの推進

基本事項01 防災情報通信設備の整備

指標①	災害情報伝達手段数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	件	5	8	8	→	☀ (向上)
評価	(状況) 市民への災害情報伝達手段数は8件で、同報系防災行政無線(屋外子局、戸別受信機)、緊急速報エリアメール、市ホームページ、市広報車、デジタルサイネージ、SNS(ツイッター、フェイスブック)があります。 (原因) 平成28年度に総合防災情報システムの構築により、3つの伝達手段を増やし運用しているためです。						目標達成度

基本事項01 防災情報通信設備の整備

指標②	災害情報伝達手段認知数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	項目	-	1.46	-	→	---
評価	(状況) 災害情報伝達手段認知数は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、災害時の情報伝達手段について、町内会・行政区で実施している防災講話等を通じて説明しており、認知数は向上していると推測されます。						目標達成度

基本事項01 防災情報通信設備の整備

指標③	災害情報伝達施設の不具合・トラブル件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	件	0	0	0	→	☀ (向上)
評価	(状況) 災害情報伝達施設の不具合・トラブルは発生しませんでした。 (原因) 災害時、情報の発信・配信が、万全に対応できるよう維持管理に努めているためです。						目標達成度
							☑ (達成)

基本事項02 消防屯所及び消防自動車等の整備・充実

指標①	消防施設・機材の管理上の不具合件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	件	76	100	112	→	☂ (低下)
評価	(状況) 消防施設・機材の不具合件数は112件で、前年度と比較し12件増加しています。内訳は、消防屯所27件、水利施設5件、消防車両50件、消防ポンプ30件です。 (原因) 消防団の日常点検を補完するため、市主催のポンプ性能検査を平成29年度から開始したことにより、不具合を発見する機会が増加していることが主な原因です。						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 防災情報通信設備の整備
- 基本事項 02 消防屯所及び消防自動車等の整備・充実
- 基本事項 03 自主防災組織等の育成・強化
- 基本事項 04 危機管理マネジメントの推進
- 基本事項 05 要援護者地域包括ケアシステムの充実
- 基本事項 06 要援護者避難支援プランの推進

基本事項03 自主防災組織等の育成・強化

指標①	自主防災組織結成率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	47.4	50.9	55.2	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 自主防災組織が5町内会(区)で結成されました。自主防災組織結成率は55.2%で、前年度と比較し4.3ポイント増加しました。 (原因) 東日本大震災の経験から、自主防災組織の必要性が再認識されているためと考えられます。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>	

基本事項03 自主防災組織等の育成・強化

指標②	消防団員充足率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	90.3	90.3	92.6	→	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 消防団員充足率は92.6%で、前年度と比較し2.3ポイント増加しています。 (原因) 女性消防団員や機能別消防団員の加入促進の効果が徐々に表れたためと考えられます。</p>					<p>目標達成度</p> <p>---</p>	

基本事項04 危機管理マネジメントの推進

指標①	水害対策マニュアルの初動体制を知っている職員の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【行政管理課】	%	67.4	77.0	76.9	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 水害対策マニュアルの初動体制を知っている職員の割合は76.9%で、前年度とほぼ同じ割合です。内訳としては、よく理解している職員の割合が13.6%で、前年度と比較し1.6ポイント増加していますが、前年度同様に20代以下の職員の初動体制の理解率が低くなっています。 (原因) 20代以下の職員の理解率が低い要因は、実際の水害対応業務に従事した経験がないことが影響していると考えられます。</p>					<p>目標達成度</p> <p>---</p>	

基本事項05 要援護者地域包括ケアシステムの充実

指標①	避難行動要支援者管理システム等データ更新件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	件	1,494	1,980	1,900		---
評価	<p>(状況) 避難行動要支援者管理システム等データの更新件数は1,900件で、前年度と比較し80件減少していますが、平成27年度との比較では406件、平成26年度との比較では462件増加しています。 (原因) 避難行動要支援者名簿登録の高齢者の自宅を訪問面接し、最新の状況に更新した件数は前年度と比較し120件減少、緊急通報システム利用者情報更新は前年度と比較し12件増加、配食サービスの利用者情報更新は前年度と比較し28件増加となっています。更新件数は年々増加傾向にありますが、前年度と比較し更新件数が減少したのは避難行動要支援者名簿の更新件数の減少が要因となっています。</p>					<p>目標達成度</p> <p>---</p>	

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	防災情報通信設備の整備
基本事項 02	消防屯所及び消防自動車等の整備・充実
基本事項 03	自主防災組織等の育成・強化
基本事項 04	危機管理マネジメントの推進
基本事項 05	要援護者地域包括ケアシステムの充実
基本事項 06	要援護者避難支援プランの推進

基本事項06 要援護者避難支援プランの推進

指標①	避難行動要支援者名簿の開示率（町内会（区）長・民生委員への開示率）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき												
	【生活課】	%	100	100	100	→	☀ (向上)												
評価	<p>（状況）避難行動要支援者名簿の開示率は100%となっています。 （原因）平成25年6月に災害対策基本法等の一部が改正され、新たに、避難行動要支援者名簿の作成や、名簿情報を避難支援等関係者に提供できるなどの規定が設けられたことを受け、市内全ての町内会（区）長や民生委員に対し、避難行動要支援者名簿を配付しているためです。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>100</td></tr> <tr><td>H26</td><td>100</td></tr> <tr><td>H27</td><td>100</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100</td></tr> <tr><td>H29</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H25	100	H26	100	H27	100	H28	100	H29	100	目標達成度
		年度	実績値 (%)																
H25	100																		
H26	100																		
H27	100																		
H28	100																		
H29	100																		
							☑ (達成)												

基本事項06 要援護者避難支援プランの推進

指標②	移動に介助が必要なため避難所に移動できない市民を支援することのできる人数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき												
	【長寿福祉課】	人	1,372	1,395	1,543	→	☀ (向上)												
評価	<p>（状況）移動に介助が必要なため避難所に移動できない市民を支援することのできる人数（高齢者の避難支援者）は1,543人で、前年度と比較し148人増加しました。また地区別の避難支援者の登録状況は、浜田地区、稲田地区、大東地区、小塩江地区、岩瀬地区では避難行動要支援者名簿登録者数に対し避難支援者の登録数が上回っている状況で、その他の地区でも避難行動要支援者名簿登録者数と避難支援者の登録数がほぼ同数の状況です。 （原因）避難行動要支援者名簿登録にあたり新規登録時や登録者の自宅訪問調査時に避難支援者の登録を依頼しているため、効果が得られていると考えられます。</p>	<p>(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>1,372</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,395</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,443</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,443</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,543</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (人)	H25	1,372	H26	1,395	H27	1,443	H28	1,443	H29	1,543	目標達成度
		年度	実績値 (人)																
H25	1,372																		
H26	1,395																		
H27	1,443																		
H28	1,443																		
H29	1,543																		

政策 32 生活安全体制の強化

施策 02 防災都市基盤の整備促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、防災拠点施設	災害が起きにくい環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	急傾斜地崩落危険箇所及び内水浸水対策（排水ポンプ配備）地区における被害件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【道路河川課】	件	0	0	0	
評 価	（状況）急傾斜地崩落危険箇所及び内水浸水対策（排水ポンプ配備）地区の被害はありませんでした。 （原因）大雨が予想される際は、内水排水ポンプを早期に配備し、水位上昇に合わせいち早く稼働できる体制を整えました。台風発生（5号、18号、21号）及び増水に伴いポンプ設置を行いました。比較的雨量が少なかったため、被害はありませんでした。	(件) 					☀ (向上)
							目 標 達 成 度
							🏰 (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	急傾斜地の崩落防止施設の整備促進
基本事項 02	河川改修の促進
基本事項 03	内水排水対策の促進
基本事項 04	森林、農用地施設の整備促進
基本事項 05	防災拠点の整備

基本事項01 急傾斜地の崩落防止施設の整備促進

指標①	急傾斜地崩壊防止が整備された地区の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【道路河川課】	%	11.5	11.5	11.5	→	☁️ (横ばい)														
評価	(状況) 急傾斜地崩壊防止が整備された地区の割合は、急傾斜地区のうち11.5%で、前年度と同数です。 (原因) 事業実施主体が県であり、継続して、長沼日向地区の対策工事を行っています。平成29年度は事業地区の見直し(11戸から10戸へ変更)があり、10戸中2戸の対策が完了しましたが事業地区の全戸完了をもって整備済としているため指標に変化がありません。	<table border="1"> <caption>急傾斜地崩壊防止が整備された地区の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>H25</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>H29</td><td>11.5</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	11.5	H25	11.5	H26	11.5	H27	11.5	H28	11.5	H29	11.5	目標達成度
	年度	実績値 (%)																			
H24	11.5																				
H25	11.5																				
H26	11.5																				
H27	11.5																				
H28	11.5																				
H29	11.5																				

基本事項02 河川改修の促進

指標①	準用河川整備率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【道路河川課】	%	42.3	45.4	59.9	→	☀️ (向上)														
評価	(状況) 準用河川整備率は59.9%で、平成24年度基準値の31.0%より28.9ポイント、前年度より14.5ポイント増加しています。 (原因) 平成29年度は、下の川の補助事業が完了し、深田川については護岸工事(水路)をL=51.3m、塩田川については護岸工事L=16.0mを整備したことによるものです。なお、平成29年度から笹平川河川改良事業に着手し、分水路と樋門の詳細設計を発注しました。	<table border="1"> <caption>準用河川整備率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>42.3</td></tr> <tr><td>H25</td><td>45.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>45.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>45.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>45.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>59.9</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	42.3	H25	45.4	H26	45.4	H27	45.4	H28	45.4	H29	59.9	目標達成度
	年度	実績値 (%)																			
H24	42.3																				
H25	45.4																				
H26	45.4																				
H27	45.4																				
H28	45.4																				
H29	59.9																				

基本事項02 河川改修の促進

指標②	準用河川の氾濫回数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【道路河川課】	回	0	0	0	→	☀️ (向上)														
評価	(状況) 準用河川の氾濫はありませんでした。 (原因) 笹平川においては、西川水利組合の協力のもと、台風進路予測に合わせ、事前に上流域のため池(笹平池・十貫田池・会の田池)の水位を下げ、下流域の家屋・事業所等の内水被害軽減に努めています。	<table border="1"> <caption>準用河川の氾濫回数 (回)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (回)	H24	0	H25	0	H26	0	H27	0	H28	0	H29	0	目標達成度
	年度	実績値 (回)																			
H24	0																				
H25	0																				
H26	0																				
H27	0																				
H28	0																				
H29	0																				
							🏰 (達成)														

基本事項03 内水排水対策の促進

指標①	ポンプ場整備率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【道路河川課】	%	62.5	62.5	62.5	→	☁️ (横ばい)														
評価	(状況) ポンプ場は5箇所が整備済みであり、実績値は62.5%で前年度と同数です。 (原因) ポンプ場の整備済箇所は、牛袋町・館取町・古屋敷・下江持・仲の町の5箇所ですが、残り3箇所については、国管理の阿武隈川河川敷地に設置するため、河川改修後に設置します。	<table border="1"> <caption>ポンプ場整備率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>62.5</td></tr> <tr><td>H25</td><td>62.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>62.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>62.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>62.5</td></tr> <tr><td>H29</td><td>62.5</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	62.5	H25	62.5	H26	62.5	H27	62.5	H28	62.5	H29	62.5	目標達成度
	年度	実績値 (%)																			
H24	62.5																				
H25	62.5																				
H26	62.5																				
H27	62.5																				
H28	62.5																				
H29	62.5																				
							■ (中)														

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	急傾斜地の崩落防止施設の整備促進
基本事項 02	河川改修の促進
基本事項 03	内水排水対策の促進
基本事項 04	森林、農用地施設の整備促進
基本事項 05	防災拠点の整備

基本事項03 内水排水対策の促進

指標②	床上浸水家屋数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	件	0	0	0	→	☀ (向上)
評価	(状況) 内水浸水対策地区における浸水被害はありませんでした。 (原因) 平成29年度においては、床上浸水に至るような局地的な豪雨等の発生がなかったためです。	<p>(件)</p> <p>5 4 3 2 1 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>					目標達成度
							☑ (達成)

基本事項04 森林、農用地施設の整備促進

指標①	補助及び負担金額	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	千円	15,477	15,387	15,656		---
評価	(状況) 各土地改良区が行う土地改良施設(かんがい用水路、ダム、ため池等)の維持管理にかかる補助金及び負担金であり、平成29年度補助金及び負担金額は15,656千円で、前年度と比較しほぼ横ばいです。 (原因) 維持管理を要する土地改良施設に大きな変化はなく、毎年、同程度の補助金及び負担金額となっています。	<p>(千円)</p> <p>20,000 15,000 10,000 5,000 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>					目標達成度

基本事項05 防災拠点の整備

指標①	防災拠点施設の耐震化率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	70	80	80	→	☀ (向上)
評価	(状況) 防災拠点施設の耐震化率は80%で、前年度と同数です。 (原因) 地域防災計画で防災拠点と定める市庁舎と公民館において、市庁舎は完了していますが、公民館は改築に合わせて耐震化を進めることとしており、平成29年度は改築がなかったためです。	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>					目標達成度

基本事項05 防災拠点の整備

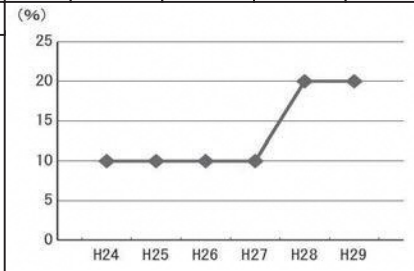
指標②	防災拠点施設内の倉庫整備率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	20	30	30	→	☀ (向上)
評価	(状況) 防災拠点施設内の倉庫整備率は30%で、前年度と同数です。 (原因) 地域防災計画で防災拠点と定める市庁舎と公民館において、市庁舎の防災倉庫は整備が済みましたが、公民館は改築に合わせて整備を進めることとしており、平成29年度は改築がなかったためです。	<p>(%)</p> <p>35 30 25 20 15 10 5 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>					目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	急傾斜地の崩落防止施設の整備促進
基本事項 02	河川改修の促進
基本事項 03	内水排水対策の促進
基本事項 04	森林、農用地施設の整備促進
基本事項 05	防災拠点の整備

基本事項05 防災拠点の整備

指標 ③	防災拠点施設内の緊急貯水槽整備率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	<p>【生活課】</p> <p>(状況) 防災拠点施設内の緊急貯水槽整備率は20%で、前年度と同数です。 (原因) 地域防災計画で防災拠点と定める市庁舎と公民館において、市庁舎の緊急貯水槽は整備が済みましたが、公民館は改築に合わせて整備を進めることとしており、平成29年度は改築がなかったためです。</p>	%	10	20	20	→



政策 32 生活安全体制の強化

施策 03 交通安全対策の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、交通安全施設	交通安全に対する意識高揚が図られるとともに、事故防止のための安全対策の充実が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	市内の人身事故発生件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】 1月から12月までの暦年データに基づくものです。	件	279	221	206	→
評価	<p>(状況) 市内の人身事故発生件数は、年々減少してきており、平成29年は206件で、前年と比較し15件減少しました。また、傷者数は237人で、前年と比較し29人減少しました。時間帯別では6時から14時までの事故発生件数が31件減少しました。</p> <p>(原因) 交通安全関係団体等が連携して実施する交通安全啓発運動などにより、交通安全意識の向上が図られていることも要因の一つと考えられます。</p>						目標達成度

指標②	市内の交通事故死者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】 1月から12月までの暦年データに基づくものです。	人	2	4	3	→
評価	<p>(状況) 市内の交通事故死者数は3人で、前年と比較し1人減少しましたが、すべて高齢者でした。また、県内の死者数は68人で、前年と比較し22人減少しましたが、うち高齢死者数は37人で、全死者数の54.4%を占めています。</p> <p>(原因) 死亡事故3件については、前方不注意、交差点安全進行違反、歩行者妨害等に起因するものとなっています。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 交通安全教室の充実

基本事項 02 交通安全施設の整備

基本事項01 交通安全教室の充実

指標 ①	交通ルールを順守している市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【生活課】	%	-	84.2	-	→	
評価	(状況) 交通ルールを順守している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未 取得となっています。ただし、人身事故発生件数が平成28年度から 15件減少していることから、市交通教育専門員による通学路での立 哨活動や、交通安全教室の実施により、交通ルールを順守している 市民の割合は向上していると推測されます。	(％) 					目標 達成度

基本事項02 交通安全施設の整備

指標 ①	交通安全施設を整備した箇所数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【道路河川課】	箇所	34	42	45	→	
評価	(状況) 交通安全施設を整備した箇所数は45箇所、前年度と比較 し3箇所増加しました。整備内訳は区画線24箇所、路面カラー化2箇 所、ガードレール2箇所、カーブミラー13箇所、標識2箇所、歩道段 差解消2箇所を実施しました。 (原因) 施設の老朽化や交通量の増加、高齢運転者の増加等の要因 により、年々増加している整備要望箇所数に対して、計画的に対応 したためです。	(箇所) 					目標 達成度

政策 32 生活安全体制の強化

施策 04 防犯活動・消費生活の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、防犯設備	防犯活動や防犯設備の充実、消費トラブル防止のための啓発活動を通じ、安全に生活のできる地域社会がつくられます。

施策の成果状況と評価

指標①	刑法犯認知件数（須賀川警察署管内）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】 1月から12月までの暦年データに基づくものです。	件	534	540	535	→
評価	<p>(状況) 須賀川警察署管内の刑法犯罪として確認された件数は535件で、前年と比較し5件減少しました。刑法犯認知件数のうち、詐欺などの知能犯は18件で、前年と比較し23件減少しましたが、窃盗犯は397件で、前年と比較し51件増加しました。</p> <p>(原因) なりすまし詐欺などの知能犯対策に官民あげて取り組んだことが減少の要因になったと考えられます。一方、甘えた社会認識により万引きに及ぶといった事案が多いことから、窃盗数が増加したと考えられます。</p>						目標達成度

指標②	この1年間に消費トラブルにあったことがある市民割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	%	-	6.1	-	→
評価	<p>(状況) この1年間に消費トラブルにあったことがある市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、なりすまし詐欺防止のため、啓発活動等により周知しているため、トラブル割合が低下していると推測されます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 防犯灯設置の推進
基本事項 02 防犯体制の強化
基本事項 03 消費生活に関する講座・研修会の充実

基本事項01 防犯灯設置の推進

指標①	防犯灯の設置数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	灯	6,886	6,966	6,975	→	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度の防犯灯設置及び引受件数は54灯で、廃止等台帳精査分45灯を差し引くと、設置総数は前年度と比較し9灯増加の6,975灯となりました。 (原因) 夜間における犯罪、事故等の発生を抑止する効果が認められることから、市民生活の安全に資するため、防犯灯の効果的な設置に努めました。					目標達成度	---

基本事項01 防犯灯設置の推進

指標②	防犯灯の維持管理不具合件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	件	1,531	591	32	→	☀ (向上)
評価	(状況) 防犯灯の維持管理不具合件数は32件で、前年度と比較し559件減少しました。主な不具合原因は、球切れや引込線の断線でした。 (原因) 平成28年度に実施した防犯灯LED化事業により、防犯灯の長寿命化が図られ、主な不具合原因である球切れが大幅に減少したためです。					目標達成度	---

基本事項02 防犯体制の強化

指標①	防犯対策を実施している市民割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	-	51.2	-	→	---
評価	(状況) 防犯対策を実施している市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、防犯に関する意識啓発や自主的な防犯活動を行う町内会への防犯ジャンパー貸与などを通じて、防犯意識の醸成が図られているものと推測されます。					目標達成度	---

基本事項02 防犯体制の強化

指標②	緊急連絡システム加入率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	103	93	96.6	→	☁ (横ばい)
評価	(状況) 緊急連絡システム加入率は96.6%で、前年度と比較し3.6ポイント増加しました。小中学校のほとんどの家庭で加入しており、防犯体制が整っている状況と考えられます。 (原因) 不審者に関する連絡、悪天候による下校時刻変更や臨時休校の連絡、熊などの危険動物発見に関する連絡など、児童・生徒及び保護者のニーズに合った活用ができていたり、各学校での加入啓発により、緊急連絡システムを活用するための登録の必要性がさらに高まったためと考えられます。					目標達成度	---

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 防犯灯設置の推進
- 基本事項 02 防犯体制の強化
- 基本事項 03 消費生活に関する講座・研修会の充実

基本事項03 消費生活に関する講座・研修会の充実

指標①	(代替) 消費者研修会、啓発実施回数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	回	10	10	12	
評価	<p>(状況) なりすまし詐欺や悪質商法などの消費者トラブルに関する研修会や啓発については、年12回実施しました。</p> <p>(原因) 消費生活モニターについては、モニター会議4回、研修会1回を実施しました。また、小・中学生、新成人、高齢者、全市民の各対象者にリーフレット等を配布し、消費者トラブルの防止に努めました。</p>					目標達成度	---

基本事項03 消費生活に関する講座・研修会の充実

指標②	(代替) 消費者相談件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	件	15	10	9	
評価	<p>(状況) 市民相談員及び無料法律相談における消費者相談件数は9件で、前年度と比較し1件減少しました。</p> <p>(原因) 消費者知識の向上が図られているとともに、県の消費生活センターなどの相談窓口の周知が図られていることが要因と考えられます。</p>					目標達成度	---